

2025 年 1 月 21 日

千葉県知事 熊谷俊人様

日本共産党市原市議団
福田雅彦 駒形八寿子

養老川治水に関する要望書

市原市内中心部を流れる養老川は千葉県が管理する 2 級水系です。

同河川流域には約 6 万人が居住し、東京湾に臨む下流域には市の玄関口である JR 五井駅があります。ひとたび河川氾濫となった時の災害の甚大さは容易に想像できます。

県事業としての＜養老川水系 流域治水プロジェクト＞には、

「令和元年 10 月豪雨や令和 5 年 9 月の台風第 13 号の接近に伴う豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、養老川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、降雨強度約 50mm/hr の確率規模の降雨によって発生しうる洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。」とあります。

本プロジェクトの取り組みにおけるハード面での氾濫の防災減災対策（下表）に関して、下記のとおり要望いたします。

区分	対策内容	実施主体	① 工程		
			短期	中期	中長期
②	河道拡幅、河道掘削	千葉県	養老橋付近	養老大橋～JR内房線	
	河道掘削、築堤	千葉県			廿五里橋～権現堂橋
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	養老川全域(定期的に実施予定)		
	河床低下対策	千葉県	パープエ	二瀬橋～ダム下流	
	高滝ダムの事前放流	千葉県		継続して実施	
	貯水池内の浚渫	千葉県		継続して実施	
	貯砂ダムの増設、貯砂施設の検討	千葉県	1基増設	ダム貯水池外で検討	
	水田を活用した一次貯留(田んぼダム)	活動組織等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と市原市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	公共下水道(雨水)の整備	市原市		継続して実施	
③	開発行為における雨水流出抑制施設等設置の指導	市原市		継続して実施	
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策				

記

1. 対策の工程が短期、中期、中長期と抽象的な表現となっていますが、実時間を入れた 10 年、20 年の対策計画化を行うこと。(表中①)
2. 河道拡幅、掘削、築堤対策について(表中②)
短期の対策として、「養老橋付近」のみですが、
中期となっている「養老大橋～JR 内房線」を早期に実施すること。
また、中長期となっている「廿五里橋～権現堂橋」は上流側の大坪橋まで延伸し、早期に実施すること。
3. 高滝ダムに関わる対策について(表中③)
短期～中長期での継続となっていますが、要点をおさえた計画化を行うこと。

以上

資料

権現堂橋と大坪橋の間にも民家



河川曲がりの外側箇所の被害



権現堂橋より撮影

大雨時に河岸法面に被害（写真左）

市道にもひび割れの影響（写真右）